

王寺町の財政状況

1. 王寺町の平成24年度決算の状況

王寺町の財政と家計では、金額や使い道に大きな違いがあるため単純には比較できませんが、平成24年度決算の状況を、「月収30万円の家計」に例えてみました。

王寺町の平成24年度決算（普通会計）

■歳入

町税は、歳入全体の約41%

| | |
|----------------|-----------|
| 町税 | 2,938 百万円 |
| 地方交付税、国・県支出金など | 3,025 百万円 |
| 負担金、使用料、手数料など | 565 百万円 |
| 繰入金 | 301 百万円 |
| 町債 | 328 百万円 |
| 歳入合計 | 7,157 百万円 |

■歳出

経常的に必要となる経費は、約68億円
(歳出全体の約96%)

| | |
|----------------------|-----------|
| 人件費 | 1,109 百万円 |
| 扶助費（医療費助成、障害者への給付など） | 1,012 百万円 |
| 公債費 | 1,577 百万円 |
| 物件費 | 910 百万円 |
| 繰出金、補助費等 | 2,177 百万円 |
| 普通建設事業費、維持補修費 | 106 百万円 |
| 積立金 | 163 百万円 |
| 歳出合計 | 7,054 百万円 |

| | |
|-------|---------|
| 歳入－歳出 | 103 百万円 |
|-------|---------|

(実質収支 103 百万円)

1ヶ月の家計簿に例えると・・・

■収入

| | | |
|----------------|-----|-----------|
| 給料 (計 25万円) | 基本給 | 123,000 円 |
| | 諸手当 | 127,000 円 |
| パート収入等 | | 24,000 円 |
| 貯金の取り崩し | | 12,000 円 |
| 借金 | | 14,000 円 |
| 収入合計 | | 300,000 円 |

■支出

| | |
|--------------|-----------|
| 食費 | 47,000 円 |
| 医療費 | 43,000 円 |
| 借金の返済 | 66,000 円 |
| 日用品、光熱水費など | 38,000 円 |
| 子どもへの仕送り、習い事 | 91,000 円 |
| 家電の買替え、家の修繕 | 4,000 円 |
| 貯金 | 7,000 円 |
| 支出合計 | 296,000 円 |

| | |
|-------|---------|
| 収入－支出 | 4,000 円 |
|-------|---------|

王寺町は、過去から黒字決算を継続しています。しかし、黒字だから安心とは単純には言えません。財政構造の硬直性（弾力性）を表す指標を使って、王寺町の財政状況を見てみましょう。

2. 王寺町の経常収支比率

〔経常収支比率とは？〕

自由に使えるお金の割合（財政の弾力性）を示す指標として、「**経常収支比率**」というものがあります。これは、家計で例えるなら、給料など毎月必ず入ってくるお金のうち、毎月の生活に必要な経費（経常経費）にどの程度使っているかという割合です。

この数値が低いほど、お金の自由度が増し、生活にゆとりがある（財政に弾力性がある）こととなります。また、この数値が高いほど、生活に余裕が無く、家電製品の買い替えや住宅のリフォームなど、臨時的な支出に対応することができません。

王寺町の平成24年度の経常収支比率は**92.9%**で、全国平均の90.7%を超えており、町の財政状況は、健康状態に例えるなら「**要治療**」に分類される状況にあります。

| | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率 | 王寺町 | 奈良県平均 | 全国平均 |
| | 92.9% | 93.7% | 90.7% |

3. これまでの歳出削減の取り組み

①人件費の削減

王寺町では、これまで退職者の補充を抑制し、職員数の削減に取り組んできました。平成24年4月1日現在の職員数は**145人**と、5年前と比べて**48人削減**しており、削減率は24.9%と県内トップです。

| 王寺町の職員数 | | | 19年度からの職員数の削減率 | | | 類似団体との比較 | |
|---------|------|-------------|----------------|--------|-------|----------|--------|
| 24年度 | 19年度 | 削減数 | 王寺町 | 県平均 | 全国平均 | 職員数 | 比率 |
| 145人 | 193人 | △48人 | △24.9% | △10.7% | △8.2% | △13人 | △10.6% |

| 王寺町の職員給 | | | | |
|---------|---------|-----------------|---------------------|---------------|
| 24年度 | 19年度 | 削減額 | 削減額を家計（月収30万円）に例えると | 削減率 |
| 702 百万円 | 971 百万円 | △269 百万円 | △11,000 円 | △27.7% |

②公債費の抑制

王寺町では、平成21年度、平成23～25年度にかけて、金融機関からの借入金の繰上償還を実施し、翌年度からの公債費（ローンの償還額）を抑制してきました。

| 年度 | 繰上償還額 | 繰上償還による翌年度の町財政の改善額 | |
|-----------|------------------|--------------------|---------------------|
| | | 公債費削減額 | 削減額を家計（月収30万円）に例えると |
| 平成21年度 | 411 百万円 | △170 百万円 | △7,000 円 |
| 平成23年度 | 205 百万円 | △49 百万円 | △2,000 円 |
| 平成24年度 | 556 百万円 | △113 百万円 | △5,000 円 |
| 平成25年度 | 162 百万円 | △32 百万円 | △1,000 円 |
| 合計 | 1,334 百万円 | △364 百万円 | △15,000 円 |

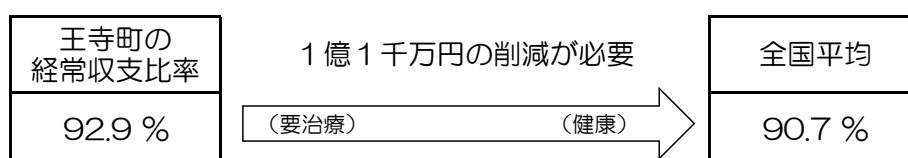
③ 税収の確保

歳入確保のために、住民の皆様のご理解とご協力のもと、町税の徴収率の向上を図ってまいりました。平成24年度の町税の徴収率は**98.5%**で、県内トップの徴収率となっています。

| 年度 | 町税の徴収率 | | | |
|--------|--------|-------|-------|------|
| | 王寺町 | 県平均 | 全国平均 | 県内順位 |
| 平成20年度 | 97.8% | 91.3% | 93.6% | 4位 |
| 平成21年度 | 98.1% | 91.3% | 93.3% | 4位 |
| 平成22年度 | 98.1% | 91.5% | 93.3% | 4位 |
| 平成23年度 | 98.4% | 92.1% | 93.7% | 2位 |
| 平成24年度 | 98.5% | 92.8% | 94.2% | 1位 |

4. 経常収支比率を「健康」にするためには

王寺町の経常収支比率を「要治療」から、「健康」（全国平均未満）にするには、経常的な歳出を、約**1億1千万円**削減する必要があります。



5. 今後の財政需要等について

しかしながら、1億1千万円を削減することは、簡単なことではありません。今後、王寺町では、老朽化する公民館などの公共施設の建替え、高齢化に伴う介護に要する経費の増加などとともに、少子高齢化の影響（生産年齢人口の減少）による町税の減収などが見込まれています。

① 公共施設の老朽化

王寺町の公共施設は、築後30年経過している施設が多く、今後、耐震性の確保も踏まえ、建替えまたは改修による長寿命化が必要になってきます。

(主な公共施設の建築年及び築後年数)

| 学校名 | 建築年 (一番古い 校舎) | 築後年数 | 施設名 | 建築年 | 築後年数 |
|--------|---------------------|------------|----------|-----|------------|
| 王寺幼稚園 | S45 | 44年 | 中央公民館 | S49 | 40年 |
| 王寺南幼稚園 | S62 | 27年 | 文化福祉センター | S57 | 32年 |
| 王寺小学校 | S34 | 55年 | 泉の広場公民館 | S54 | 35年 |
| 王寺北小学校 | S51 | 38年 | // 体育館 | | |
| 王寺南小学校 | H元 | 25年 | // プール | S52 | 37年 |
| 王寺中学校 | S39 | 50年 | 舟戸プール | S59 | 30年 |
| 王寺南中学校 | S58 | 31年 | 王寺アリーナ | H2 | 24年 |

※ 幼稚園及び学校の耐震化は、既に完了しています。

②生産年齢人口の減少

新聞紙上でも少子高齢化が話題となっていますが、王寺町も例外ではありません。平成26年1月1日人口を基にした王寺町の将来推計人口では、今後20年間で年少人口は△40.2%、生産年齢人口は△22.4%の減少、逆に高齢者人口は+22.2%伸びることが見込まれています。

生産年齢人口が減少すれば、所得により税額が決まる個人住民税の減少につながり、20年後の町税収入は、**現在より約1億7,800万円減少**することが見込まれます。

また、高齢者人口の伸びにより、後期高齢者医療や介護保険に係る給付への繰出金も増えることが予想されます。

(王寺町の将来推計人口)

| 年齢区分 | 平成26年1月1日 (2014年) | | 平成47年推計人口 (2035年) | | 差 | |
|-----------------|----------------------|--------|----------------------|--------|---------|---------------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 増減率 |
| 年少人口(0~14歳) | 3,016人 | 13.0% | 1,804人 | 9.0% | △1,212人 | △40.2% |
| 生産年齢人口(15歳~64歳) | 14,220人 | 61.5% | 11,035人 | 55.1% | △3,185人 | △22.4% |
| 高齢者人口(65歳~) | 5,896人 | 25.5% | 7,202人 | 35.9% | +1,306人 | +22.2% |
| 合計 | 23,132人 | 100.0% | 20,041人 | 100.0% | △3,091人 | △13.4% |

6. これからの王寺町の課題

生産年齢人口を維持し、税収を確保していくためには、町内での出産を促す施策とともに、若い世代が王寺町に転入し、定住化していただくことが必要です。そのためには、子ども・子育て支援策を拡充し、子どもが健やかに成長していくうえで必要な教育環境を整備していくことが不可欠です。経常経費の削減と、これら施策と両立していくことが求められています。このため、限られた財源を、どの施策に使っていくのか、緊急性・重要性など優先順位を見極めていくことが必要です。